

万博首長連合 令和4年度活動計画

2025年日本国際博覧会に向けた活動方針について

AGENDA

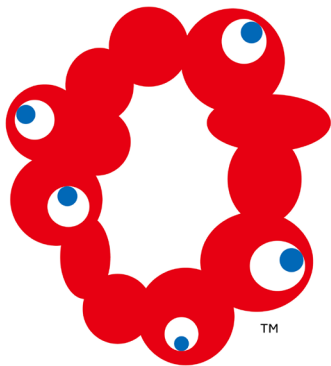
1. はじめに
2. 万博首長連合のミッション
3. 2025年に向けた機運醸成アクション
 - ✓ ミッションの実現に向けた方針とロードマップ
 - ✓ 会期前 | 2022～2024年
4. 万博会期中のアクション
5. 今回ご就任いただいたアドバイザーについて



Hourai Brige Shizuoka (© AsunoAkari_photo
(クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (表示4.0 国際)) を改変して作成

1. はじめに ～日本国際博覧会とは～

国際博覧会は、国際博覧会条約に基づき、国が登録申請し
国が開催を保証することとされた 国家イベント



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

TEAM
EXPO
2025

つくろう。みんなで。
“共創プログラム”

1. はじめに ～政府全体の方針～

「この機会を最大限にいかし、
日本全体の祭典となるよう、世界に発信すること」

〔 2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する
施策の推進を図るための基本方針について（令和2年12月21日閣議決定） 〕



いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”

提供：2025年日本国際博覧会協会

2. 万博首長連合のミッション

万博は「ゴール」でなく、終了後も全国に持続し、地域社会の未来を育むレガシー構築の「実験の場」（地域活性化のための動機付けの場）

万博首長連合は「2025年日本国際博覧会」のビジョンに共感し、それを契機として、地方自治体の更なる基盤整備と飛躍を図ります。

自治体間と他組織を繋ぐ
オープンイノベーション
プラットフォーム

地域が持続可能な発展を目指す上で重要な視点である万博のサブテーマ

「Saving Lives（守る）」
「Empowering Lives（創る）」
「Connecting Lives（繋ぐ）」

を紡ぐことで、万博終了後も自走する地域システムの形成や地域に根差す優秀な人材の輩出を目指します。

繋ぐ、紡ぐ
TSUNAGU、TSUMUGU

2. 万博首長連合のアクション | セミナーやワーキンググループで取り扱うテーマ

各地域が実行しやすいよう、万博のサブテーマを10に分け、プロジェクト型で進展を図る。

創る（経済・産業）

Empowering Lives
いのちに力を与える

I

インクルージョン
&イノベーション

II

地域・社会課題解決×
ビジネス

III

観光・
地域資源開発

繋ぐ（社会・都市）

Connecting Lives
いのちをつなぐ

IV

健康促進

V

教育・地域スポーツ

VI

モビリティ

守る（環境・基盤）

Saving Lives
いのちを救う

VII カーボン・ニュートラル

VIII 防災

IX 自治体DX

X 安全・安心な地域のDX（サイバーセキュリティ）

3. ミッションの実現に向けた方針とロードマップ

万博の開催期間に加え、その前後においても、地域の魅力発信、課題解決や魅力づくりに資する取組を行う。

アクション 方針

- ① 【魅力発信】 地域の魅力発信の**場づくり**
- ② 【課題解決】 自治体同士、自治体と企業等による**連携活動**の構築支援
- ③ 【魅力づくり】 地域資源・文化資源の**磨き上げの支援**

Before 日本各地



- 万博に来場者を誘引（機運醸成）
- ✓ 万博×地域を盛り上げる場づくり
 - ✓ 自治体の課題解決に向けた持続可能な事業の構築支援
 - ✓ 地域資源・文化資源の磨き上げ

2025 大阪 夢洲

自治体が主体的に万博に参加

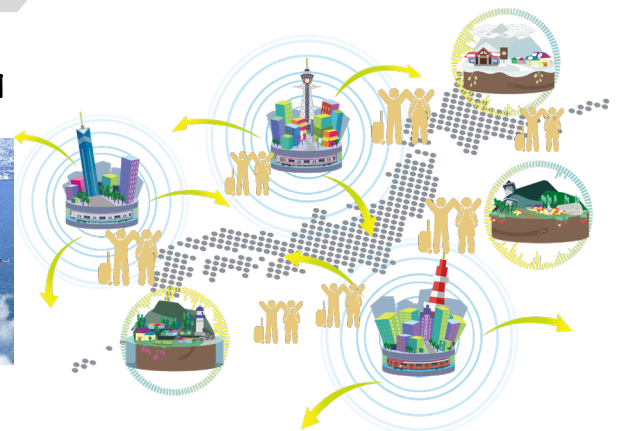


提供：2025年日本国際博覧会協会

万博首长連合総会資料

After 日本各地

万博来場者が+1地域を訪問



2025万博レガシーの構築

- （日本各地の地域経済が活性化）
- ✓ テーマごとの周遊ツアーを組成支援
 - ✓ 自治体間のネットワーク促進

3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

① 【魅力発信】地域の魅力発信の場づくり

「全国自治体共創万博（仮称）」として物産展等を通じて全国各地で開催。

2022

2023 - 2024

2025

● 1000日前

● 500日前

● 100日前



【全国物産展】

- ・大阪開催
- ・東京開催

【全国物産展】

- ・全国地方開催（大～小）

【全国物産展】

- ・会場周辺施設含む

万博首长連合と官民連携による制度設計（調整中）

- ・全国自治体共創万博（仮称）として万博首长連合ロゴマークを活用した認知促進
- ・機運醸成主体者へのインセンティブ（自治体、企業、商工会議所等）の検討

Mayorall Alliance for EXPO2025

万博首长連合（仮）

会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

全国自治体共創万博について

万博首長連合×夢洲新産業・都市創造機構～EXPO2025に向けて

一般社団法人

夢洲新産業・都市創造機構

2022/6/1

- 2025年万博に向けて、事業骨子は固まってきているが、社会の期待感は不十分
- 特に、全国自治体や地域に根差した企業・団体にとっては、まだ万博が「他人事」状態



- 全国自治体の皆様に、万博を「我が事」にしていただき、万博の機運醸成と万博パワーを活用し、地域の未来を拓く活動を共創できるよう、参加しやすい事業を組成する
- 事業は、万博首長連合と夢洲機構で企画し、運営は夢洲機構が担う

「百の議論より、一の実行！」のミッションを掲げ、万博という千載一遇のチャンスを、全国津々浦々の自治体と地域の方々や企業や大学、TEAM EXPO 2025参画者等みんなで一緒に、ワクワク、楽しく、面白い万博を、作っていきましょう！

いのち輝く未来社会をめざして！

- 万博パワーを活用する、万博の作り手になる
- 今あるリソース、過去から地域に続く強みを生かしたものをベースにする
- 他地域や企業との共創を通じて、SDGsをはじめいつもより一歩先を目指す

全国自治体共創万博

- 全国各地のお国自慢（自然・風景、産業・技術、伝統文化、祭り、食文化、特産品など）を持ち寄る「物産展」と、近未来にアレンジするビジネスマッチングの「展示会」の両方の良さを合わせたイベントで、万博を盛り上げる
- 2025年まで、全国各地を会場にして毎年複数回開催、常設Showcaseも開設

事業
イメージ

2025大阪・関西万博を盛り上げよう！
応援イベント

全国 味腕 自慢物産展



主催 万博首長連合・(一社)夢洲新産業・都市創造機構

万博×新進気鋭の活躍の場

U-35の農家・料理人・アーティスト等が創った
品の展示・販売・体験ブース



万博×グローバルの場

日本×海外のストーリーのあるものの展示・販売
ブース



万博×地方創生の場

日本各地の地域資産や観光コンテンツのプロ
モーションゾーン



万博×イノベーションの場

産学公が共創する未来社会の実験場ブース



イベントの開催

- 首長連合の会員自治体が「お国自慢」を軸に会場に集結
- 物産の紹介や提供は、来場客の五感を刺激し、各地の観光振興・活性化のための有効なプロモーションに
- リアルとオンラインを組み合わせるハイブリッド出展も可能に
 - …物理的に出店できない会員のためにオンラインでの出展も用意（会場でのライブ映像配信など）
 - …短期の打ち上げ花火で終わらせず、継続的な取り組みとするためのネットの活用



常設ShowCaseの設置

- 各地の交通の結節点などに常設のShowCaseを設置
- 単なる観光案内所ではなく、万博首長連合の情報発信拠点として、地域の魅力（地域グルメ・ショッピング・宿泊情報など）をICT技術を駆使（対面コミュニケーション型アバターソリューションの導入など）して、国内外の観光客に新たな観光案内の体験を提供
（コロナ感染拡大で、観光におけるデジタル技術活用した取り組みが増加。バーチャルツアーやVR・メタバース＋アバターでの観光体験、観光客の嗜好に合わせたツアープランニングなど企業側への魅力も付加）

展示会への出展

- 商品展示だけでなく、出展者が商談を通じた販路拡大、正確な商品情報を伝える場として機能
- 開催予定の関連展示会へ会員自治体のブース出展が可能

「全国自治体 EXPO Talks」・YouTube動画の配信

～ 日本から世界へ ～

- 万博首長連合として統一感のあるコンテンツを制作
（例えば「グローバル・オンラインお国自慢」・英語字幕をつけ、世界に発信することで、ローカルなことがグローバルになる・・・など）
- 「全国自治体EXPO Talks」としてシリーズ化を前提に、登場自治体が自慢するテーマを設定、そのテーマ実現に関係する経済界のリーダーやアカデミアの先生方をアサインし、産・学の視点から助言いただくなど、夢洲機構のネットワークも活用して視聴者の地域への興味を引き立て、登場自治体にとっても有意義なものに！
- 統一のハッシュタグを使ったソーシャルメディアへの発信など



万博×イノベーションの場

- 地元企業の新商品・新サービスの実証の場として活用。領域を設定し、全国から実証・実装案件を集めた 展示・体験など

夢洲機構との連携事業として実現

- 夢洲新産業・都市創造機構**
- ・大企業をはじめ220法人を超える会員
 - ・事業アイデアの提案
 - ・各社のリソース活用

大阪築港赤レンガ倉庫&赤レンガ広場

時期：2022年10月～11月頃



■ 万博会場の夢洲に近い大阪築港赤レンガ倉庫で「第1回全国味腕自慢物産展」開催！！

全国の自治体の自慢の地場製品の展示・販売や、XRを駆使して万博との繋がりを演出！

各地のお祭り、若者達のライブ等でエンターテインメントも重視

- ✓ 万博に関わるテーマ（例：いのち輝くまちづくり、食と健康、アート万博等）を設け、バーチャルとも連動し、各自治体からのアバター参加等で盛り上げ
- ✓ 各地のお国自慢を仮想的にパビリオン出展
- ✓ 「健康と〇〇のコンテスト」で全国各地から参加を呼びかけ
- ✓ SDGs等の社会実験要素を加味
- ✓ 各地に関連する企業や大学の出展、ビジネスマッチング



例えば、展示会の出展では

外食・中食・小売業界を網羅する食の商談展示会（3会場）に万博首長連合ブース

・東京会場（東京ビッグサイト 東ホール）

会期2022年9月28日(水)～29日(木)



・福岡会場（マリンメッセ福岡）

会期2022年11月9日(水)～10日(木)



・大阪会場（インテックス大阪）

会期：2023年1月25日(水)～26日(木)



・万博首長連合の会員として出展することで、

いのちを輝かせる「食」を通じて万博を盛り上げる

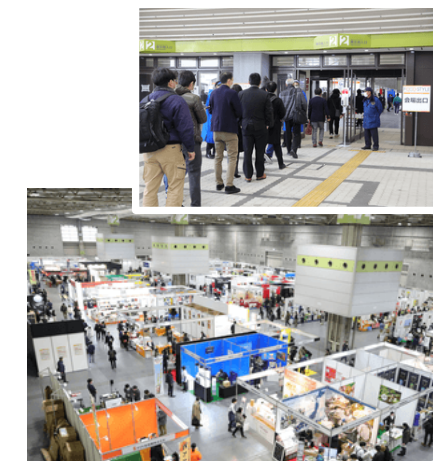
第2回大阪・関西万博 開催支援EXPOに

万博首長連合ブース

会期：2022年11月9日(水)～10日(木)

(インテックス大阪)

・万博の成功に向け、業界関係者が一堂に集まる情報交換・商談の場に万博首長連合として出展し、連合と各自治体の取組をアピール



(参考)2022年大阪会場の様子



会期：2022 11/9 (水)・10 (木) 会場：インテックス大阪

メディア取材等を通じ
知名度アップに貢献



3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

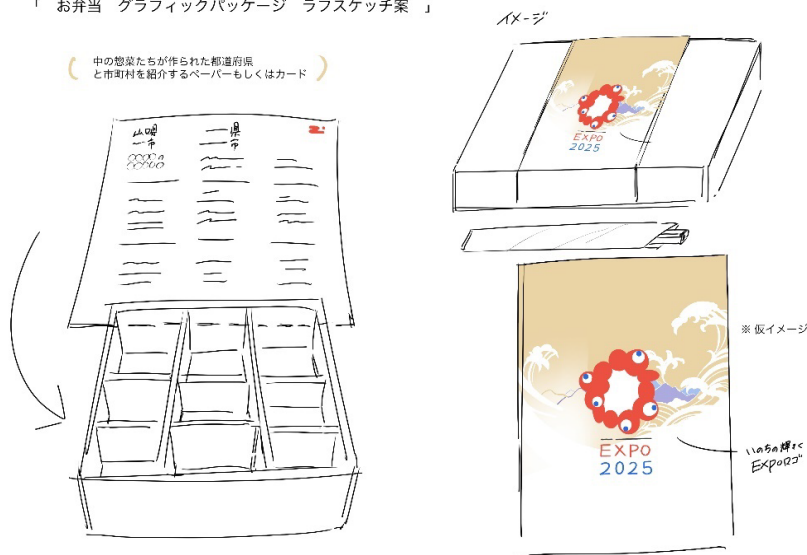
① 【魅力発信】地域の魅力発信の場づくり

公共交通機関等で万博弁当を販売

例えば、地域の特産品を集めた万博弁当を公共交通機関で販売。

「お弁当 グラフィックパッケージ ラフスケッチ案」

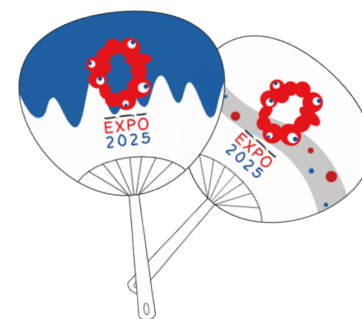
（中の惣菜たちが作られた都道府県と市町村を紹介するペーパーもしくはカード）



※デザインにつきましてはイメージです。

万博音頭・万博うちわによる機運醸成

- ✓ 万博音頭を作曲し、全国の盆踊り大会で展開。万博開催までに3回ある夏を盛り上げ、本番は万博会場で。
- ✓ 各自治体での広報用に作成されるうちわについて、そのデザインを万博仕様にすることで機運醸成を図る。



※デザインにつきましてはイメージです。

会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

3. 【会期前】 2025年に向けた機運醸成（案）

① 【魅力発信】 地域の魅力発信の場づくり

夢洲集結をゴールとした日本全国の郷土料理を
振る舞うキッチンカー・サミット

日本が誇る豊かな食文化を限られた会場と期間を有効活用して発信。キッチンカーを契機に食に限らない移動販売を普及することは、多様な商品やサービスの展開による地域の賑わいの創出や、買い物難民等の地域の課題解決にも有効。



長寿食などの特定のクールジャパンテーマの
アンテナショップ

大阪・関西以外の地域で、地域の産品を
プロモーション。

オリパラ首長連合「旅するマーケット」



会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

② 【課題解決】自治体同士、自治体と企業等による連携活動の構築支援

自治体同士が繋がる・学ぶ

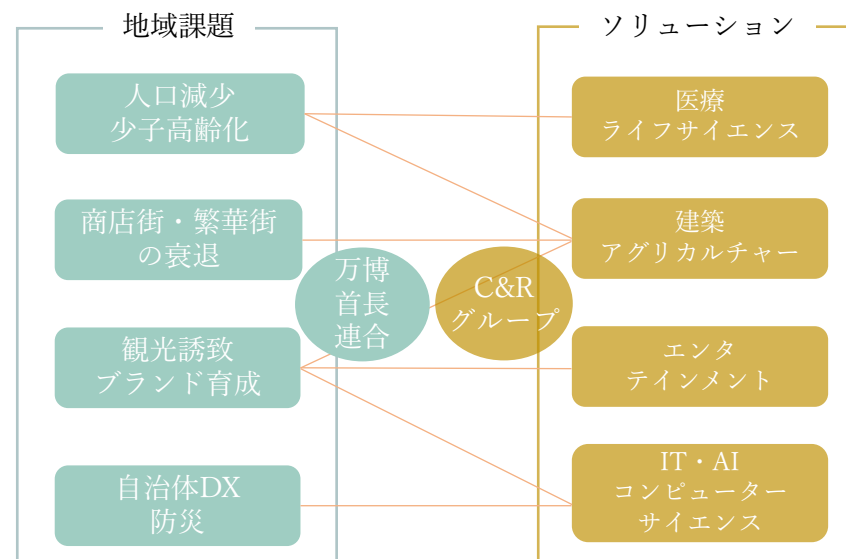
未来共創ワークショップ・セミナー

- ✓ 専門家、プロフェッショナルを交えた学びの場を醸成。
- ✓ 年に一度テーマごとに全国自治体を集めた合宿で企画を発表し、先進事例の共有。



自治体と企業等との連携

全国の自治体や地域企業等と、各業界の専門家を結び、持続可能な地域未来社会の基盤構築を目指す。



※包括連携協定先の(株)クリーク・アンド・リバー社と連携

会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

③ 【魅力づくり】地域資源・文化資源の磨き上げの支援

空きスペースを活用した
出店やイベント等によるまちの魅力づくり

公園や公開空地、高架下や建設予定地等のまちの空きスペースで、コンテナ等の仮設物、屋台やキッチンカー等の移動店舗や家具等を活用し、社会実験的な様々な出店やイベント等を推進することで、万博に向けた地域の魅力や賑わいの創出・発信を図る。



©PUBLICWARE（株式会社オープン・エー/公共R不動産）

アートやデザイン等の文化の力で
新たな観光地づくり

アートやデザイン等文化の力を活かして新たな文化資源・地域資源を開発する。例えば、以下のような仕組みが考えられる。

✓ 大阪・関西万博に向けた文化創造
アートやデザイン等の文化の力で新たな観光地づくりを促す



✓ 未来社会デザイン推進
広くデザインを活用し、地域の文化創造や課題解決を目指すネットワーク組織の形成など、持続的な未来社会をデザインできる体制の構築を支援

✓ その他
地域の食・文化等の観光資源化

Photo by Sergey Gabdurakhmanov available under Public License
<https://flic.kr/p/6HvqSk>

会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

3. 【会期前】 2025年に向けた機運醸成（案）

③ 【魅力づくり】 地域資源・文化資源の磨き上げの支援

地域の主力商品を展示会で海外発信

政府の中小企業等向けの展示会補助支援策について、会員自治体に周知。

- ✓ 中小企業等が主催する展示会等のイベントについて、先進的なサービス・技術等を用いた新たなビジネスモデルの構築に向けた取組の費用を支援し、展示会等のイベント産業の高度化

地域の魅力をストーリー性のある映像で発信

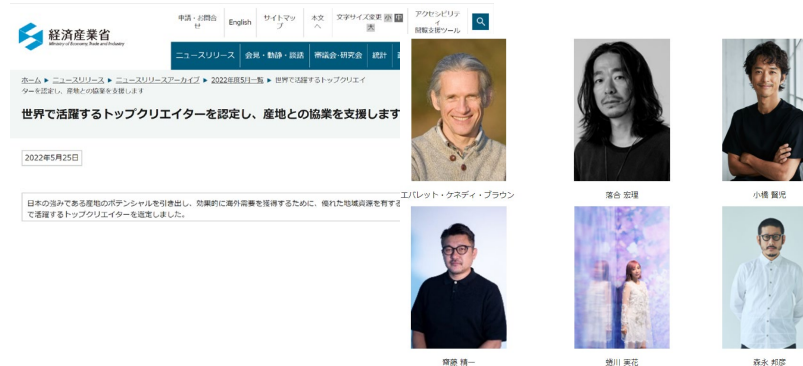
政府の企業や地方公共団体等向けの映像制作・発信の支援策について、会員自治体に周知。

- ✓ 企業や地方公共団体等のブランディングのために、自社等の姿勢や理念に対する顧客の共感を呼ぶストーリー性のある映像を制作する事業について、映像制作・発信、効果検証等に必要な経費の一部を支援

トップクリエイターを活用したブランディング

政府の中小企業者等向けの海外需要獲得支援策について、会員自治体に周知。

- ✓ 優れたコンセプトや魅力的な地域資源を保有する地域の中小企業者等が、世界で活躍するトップクリエイター等と連携し、越境ECを取り入れた海外への販路開拓、ブランド確立等の取組の経費を支援
- ✓ 中小企業者等が海外展開等のために行う新商品等の開発・改良、ブランディングや、新規販路開拓等の経費を支援



会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

③【魅力づくり】地域資源・文化資源の磨き上げの支援

展示会等のイベント産業高度化推進事業

商務・サービスグループクールジャパン政策課

令和4年度予算額 2.4億円（3.3億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 展示会等のイベントは、特に営業機能の脆弱な中小企業にとって重要な商談、マーケティングの場であり、多くの支援企業の雇用創出や、開催地域における経済波及効果など、我が国経済において重要な役割を担っています。
- 少子高齢化により国内市場が縮小する中、海外需要の獲得は、我が国経済の重要課題の一つであり、展示会は、課題を解決するための社会的インフラとしての役割が期待されています。
- こうした状況を踏まえて、本事業では、中小展示会主催者に対して海外需要獲得を目的とした新たなビジネスモデルの構築に向けた取組を重点的に支援することとし、デジタル技術の導入等、海外展開を行うための費用の一部を補助します。
- また、複数の国内展示会を一体的に海外発信することで、国内展示会の国際化を推進します。

成果目標

- デジタル技術の導入等に係る効果測定等を通じ、海外への販路拡大を目的とした新たなビジネスモデルの構築・普及を実現します。
- 海外からの来場者数、アクセス数の増加に貢献します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

ビジネスモデル構築推進事業

- 新型コロナウイルス感染症の影響により展示会の開催が制限され、デジタル技術を活用したオンラインなどの取組が試行錯誤で行われていますが、海外需要を獲得するための有効な手段の確立には至っておりません。
- 海外需要を獲得することを目的に、先進的なサービス・技術等を用いた新たなビジネスモデルの構築に向けた取組に関する費用の一部を補助することで、展示会等のイベント産業の高度化を図ります。



<取組のイメージ>

- 多言語リアルタイム翻訳ツール等を活用したコミュニケーション支援
- マッチング機能、レコメンデーション機能等による商談支援ツールの導入
- 最新のXR技術等を用いて、体験価値を向上させるための取組、等

展示会国際化促進事業

- 国内で開催される展示会への参加を促すため、複数の展示会をまとめて、一体的な海外プロモーションを実施します。
- 情報発信力のある海外メディアやバイヤーのオンライン等による参加を通じて、国内展示会への認知度・理解度を向上させるための取組を実施します。

3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

③【魅力づくり】地域資源・文化資源の磨き上げの支援

コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業

令和3年度補正予算額 **556.5億円**

商務情報政策局 コンテンツ産業課

事業の内容

事業目的・概要

- コンテンツ産業はグローバルな成長分野であり、日本のコンテンツの海外展開は、海外市場の獲得に資するとともに、日本ブームの創出を通じたインバウンド需要喚起等の波及効果にも寄与します。
- 海外需要を獲得するためには、海外作品と伍する大規模なコンテンツ製作に資するビジネスモデルを浸透させるとともに、海外市場に挑戦するクリエイターを後押しする必要があります。あわせて、日本の強みであるデジタル技術をコンテンツ分野に導入し、日本発のコンテンツを生み出す土壌を耕していくことが重要です。
- こうした現状を踏まえ、以下の支援を行います。
 1. コンテンツの海外展開におけるローカライズ・プロモーション
 2. 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達手法・人材育成
 3. ウィズコロナを見据えた産業構造の強靱化・重層化
- また、緊急事態措置区域等において、開催等を延期・中止した公演、展示会、遊園地・テーマパークの内容に関連する海外向け動画配信の実施によって、日本発コンテンツのプロモーションを行うコンテンツ関連事業者を支援します。
- これにより、コンテンツの海外市場の獲得を後押しするとともに、日本ブームの創出を通じた訪日外国人増加等の波及効果にも寄与します。

成果目標

- 2023年度までに、海外における日本由来のコンテンツ産業市場規模を3兆円にすることに貢献します。

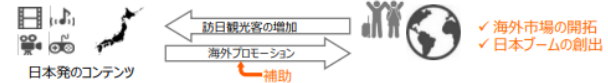
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

1. コンテンツの海外展開におけるローカライズ・プロモーションの支援

- 日本発のコンテンツの海外展開におけるローカライゼーション及びプロモーションを支援し、海外需要の獲得等を促進。



2. 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達手法・人材育成の支援

- コンテンツの本格的な製作に必要な資金調達のための試作映像等の企画・開発を支援し、コンテンツ製作に対する外部資金の流入の確立、企画・開発から対外発信まで行える人材の育成・輩出を促進。

3. ウィズコロナを見据えた産業構造の強靱化・重層化の支援

- ウィズコロナ・ポストコロナの社会環境を見据え、収益チャネルの多様化や顧客体験価値の向上を行うイベントへの支援をすることにより、エンタメビジネスにおける新たな顧客や事業機会の確保、収益基盤の多様化・強靱化を実現。これにより、日本発コンテンツを活用した新しいエンタメビジネスモデルへの転換を促進。
- 緊急事態宣言等によるイベント開催制限等の影響によってイベント等を中止せざるを得ない場合、開催等を延期・中止した公演、展示会、遊園地・テーマパークのキャンセル費用及び関連する海外向け動画の制作・配信費用を支援。



- 製作工程を効率化するシステム開発の支援により、生産性向上・制作現場改善。

- 企業等が発信するストーリー性のある映像（ブランド・コンテンツ）の制作・デジタル配信の支援により、コンテンツの新たな流通・マネタイズを創出。

3. 【会期前】2025年に向けた機運醸成（案）

③【魅力づくり】地域資源・文化資源の磨き上げの支援

デジタルツール等を活用した海外需要拡大事業

令和3年度補正予算額 12.4億円

中小企業庁 創業・新事業促進課
 商務・サービスグループ
 クールジャパン政策課
 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課
 商務・サービスグループ 商取引監督課

事業の内容

事業目的・概要

- B to Cの越境EC（電子商取引）市場が世界的に急速に拡大している中、日本が世界のEC市場参入に取り残されないためにも、海外展開を目指す中小企業者等に対して、越境EC市場参入のための支援をすることが重要となっています。
- 本事業では、優れたコンセプトや魅力的な地域資源を保有しているものの輸出販路が弱く十分に海外需要を取り込めていない中小企業者等が、コロナ禍によって変化する海外需要を取り込んでいけるよう、越境ECに適したブランディング、プロモーション等を支援します。
- その際、海外展開におけるブランディング、プロモーションに関する知見を持つ支援機関・支援事業者を活用しながら事業を実施することが重要であることから、経済産業省が有力な支援機関・支援事業者を「支援パートナー」として選定・公表し、中小企業者等と支援パートナーとの出会いの場を創出します。
- また、ECサイト改ざんによる個人情報・クレジットカード番号等の流出など、ECサイトを狙ったサイバー攻撃被害の急増を踏まえ、ECサイトのセキュリティの実態を調査し、対策ガイドライン等の策定・普及を行います。

成果目標

- 事業終了5年後の採択事業者全体の労働生産性について、20%向上を目指します。
- 本事業において脆弱性調査を実施しガイドラインに沿った対策を実施した企業の事業終了1年後の被害数をゼロにすることを目指します。

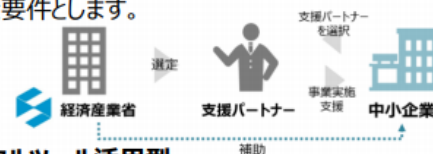
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

デジタルツール等を活用した海外需要拡大事業

中小企業者等が、越境ECを活用した海外需要の取り込みを拡大させていくために、それに適したブランディング、プロモーション等の取組を行う場合、その経費の一部を補助します。中小企業者等が補助事業に申請する際には、いずれかの支援パートナーを活用したうえで事業を実施することを要件とします。



(1) デジタルツール活用型

優れたコンセプト等を有する中小企業者等の商品について、類似商品との差別化を図るためのブランドの構築と、ブランドの魅力を効果的に発信する取組を支援します。

補助上限：500万円、補助率：2/3以内

（複数者による共同申請の場合は最大、上限5,000万円）

また、バーチャルコンテンツ等の新しいプラットフォームを活用して中小企業者等の海外展開を支援する取組を実証し、好事例の横展開を行うことで、中小企業者等の海外展開支援を高度化します。

(2) 海外で活躍するトップクリエイター活用型

優れたコンセプト等を保有する中小企業者等の商品について、既に海外で活躍するトップクリエイターと海外展開のノウハウ等を有するコーディネーターを活用して、製品全体をその世界観でコーディネートし、効果的に海外に発信する取組を支援します。

補助上限：500万円、補助率：2/3以内

（複数者による共同申請の場合は最大、上限5,000万円）

ECサイトセキュリティ対策促進事業

中小企業者等が運営するECサイトについて、システムベンダー等との契約・運営保守状況や脆弱性に関する調査を行うことで、サイト運営事業者が特に陥りやすいセキュリティの誤解や対策を明らかにし、ECサイト構築時・運営時に留意すべき事項をまとめたガイドラインやモデル契約の策定・普及を行います。

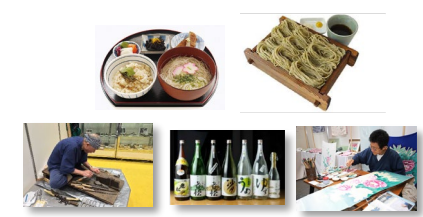
4. 【会期中】 2025年における活性化（案）



① 【魅力発信】 地域の魅力発信の場づくり

日本国際博覧会催事スペースの活用について（調整予定）

- ✓ 2025年日本国際博覧会の地域資源のプロモーションが可能な催事スペースの調整
- ✓ 会員自治体への万博出展に関する情報提供、出展支援、関連省庁と連携
- ✓ 自治体出展における負担軽減施策（テーマ毎にチーム編成、企業パートナーマッチング等）
- ✓ +1 tripのための地方自治体の受入れ施策の支援



国内外からの来場者



【国内外】2800万人
【経済効果】2兆円



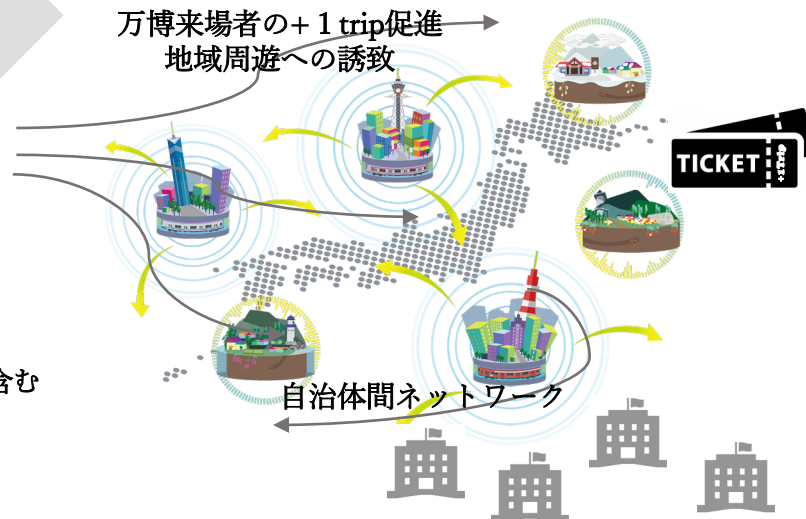
会員自治体向け
参加コンテンツの調整

※万博会場周辺での取組も含む

来場者ニーズ

- ・課題テーマへの関心
- ・地域への興味
- ・ビジネス目的

万博来場者の+1 trip促進
地域周遊への誘致



自治体間ネットワーク

会員自治体のみなさまからも企画を募集します。自由なアイデアをお寄せください。

5. 今回ご就任いただいたアドバイザーのご紹介



齋藤 精一（さいとう せいいち）
パノラマティクス主宰
（旧：ライゾマティクス・アーキテクチャー）

1975年神奈川県生まれ、東京理科大学理工学部建築学科卒。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。

Omnicom Group傘下のrnell Groupにてクリエイティブ職に携わり、2003年の越後妻有アートトリエンナーレでのアーティスト選出を機に帰国。フリーランスのクリエイターとして活躍後、2006年株式会社ライゾマティクス設立（現：株式会社アブストラクトエンジン）、2016年よりRhizomatiks Architectureを主宰。2020年組織変更によりRhizomatiks Architectureは、Panoramatiksと改め、俯瞰的な視点でこれまで繋がらなかった領域を横断し組織や人を繋ぎ、仕組みづくりから考えつくるチームを立ち上げる。現在では行政や企業などの企画や実装アドバイザーも数多く行う。



小橋 賢児（こはし けんじ）
The Human Miracle 株式会社 代表取締役
クリエイティブディレクター

1979年、東京都生まれ。88年に俳優としてデビュー、数多くの人気ドラマに出演。2007年に芸能活動を休止し世界中を旅する。帰国後『ULTRA JAPAN』のクリエイティブディレクターや『STAR ISLAND』の総合プロデューサーを歴任し国内外で成功させる。500機のドローンを使用した夜空のスペクトルショー

『CONTACT』はJACE イベントアワードにて最優秀賞の経済産業大臣賞を受賞。2021年、東京2020パラリンピック競技大会閉会式のショーディレクターを務め、また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の催事企画プロデューサーに就任する。その他、地方創生、都市開発に携わるなど常に時代に新しい価値を提供し続けている。

参考資料

世界への地域文化の発信や地域の経済の発展支援等を目的に、
プロフェッショナル・エージェンシー事業を展開する
株式会社クリーク・アンド・リバー社（以下C&R社）と
包括連携協定を締結

万博首長連合とC&R社、地域経済活性化の連携協定を締結 地域の雇用と事業創出に、プロフェッショナルが貢献 ～2025年万博を契機とした「首都圏と地域の共生基盤」を構築～



2022年4月27日プレスリリース

プロフェッショナル・エージェンシー事業を展開する株式会社クリーク・アンド・リバー社（以下C&R社）と、「2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合」（以下万博首長連合）は、全国の自治体や企業との連携による世界への地域文化の発信や地域支援などを通じ、地域の産業や経済の発展を目指す支援包括連携協定を、5月1日（日）に締結いたします。

万博首長連合は、世界的に注目される「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の機運醸成とともに、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に則った、全国の自治体同士の連携や企業などとの共創による地域活力の向上、ならびに日本全体の発展を目指しています。

C&R社は、8領域・18分野で、34万人を超えるプロフェッショナルをネットワークし、ライツマネジメント（知的財産の収益化）、プロデュース（請負・アウトソーシング）、エージェンシー（派遣・紹介）の3つの事業を柱としております。また、プロフェッショナルのアイデアを組み合わせることで、社会に新しい価値を生み出すソリューションを提供。XR* i やAI、ドローン、メタバース* ii、NFT* iii など、最新技術を活用したサービスや事業を数多く創出してしております。

今回の包括連携協定の締結により、万博首長連合が掲げる「地域の社会課題解決×ビジネス」など10のテーマに対し、C&R社の知財を有した34万人超のプロフェッショナルネットワークを活用し、全国の自治体や地域企業とを結びつけ、地域の雇用創出と事業創出を実現いたします。また、XRやAI、メタバースなどの最新技術も駆使しながら地域の課題解決を目指す未来社会への「首都圏と地域の共生基盤」を構築してまいります。

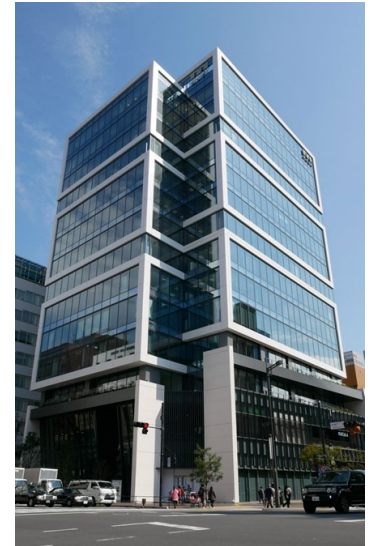
* i XR（クロスリアリティ）：（VR（仮想現実）MR（複合現実）AR（拡張現実）の総称。

* ii メタバース：インターネット上で多人数が参加する3次元仮想世界のこと。「メタ」（超越という意）と「ユニバース」（宇宙）の合成語。

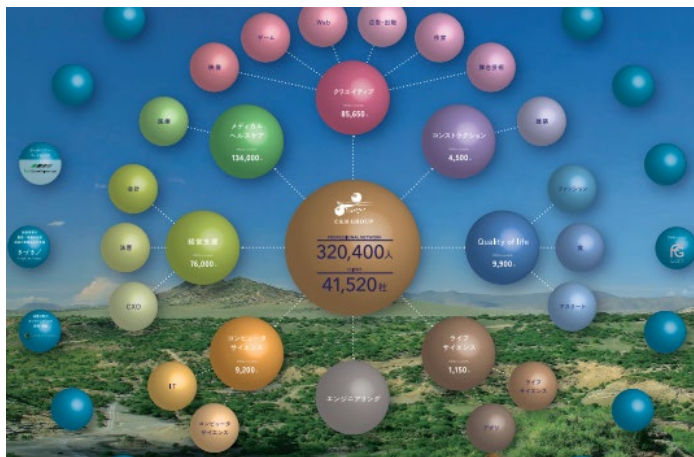
* iii NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）：ブロックチェーン（分散型台帳）技術を基に、唯一無二のものであることが証明できるデジタルデータのこと。

(株)クリーク・アンド・リバー社について

【社名】 株式会社クリーク・アンド・リバー社（東証1部 4763）
 【設立】 1990年3月
 【資本金】 11億7,719万円
 【売上高】 417億9,979万円（2022年2月期） ※C&Rグループ
 【経常利益】 34億1,925万円（2022年2月期） ※C&Rグループ
 【従業員】 1,840名（連結）
 【代表】 井川 幸広
 【本社】 東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE
 【国内拠点】 東京・大阪・札幌・仙台・大宮・福島・船橋・横浜・高崎・名古屋・
 京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇 計18か所
 【海外拠点】 ソウル・北京・上海・ロサンゼルス 計4か所
 【グループ企業】 国内19社、海外4社



【経営理念】 **人の能力は、無限の可能性を秘めています。
 私たちはその能力を最大限に引き出し、人と社会の幸せのために貢献します。**



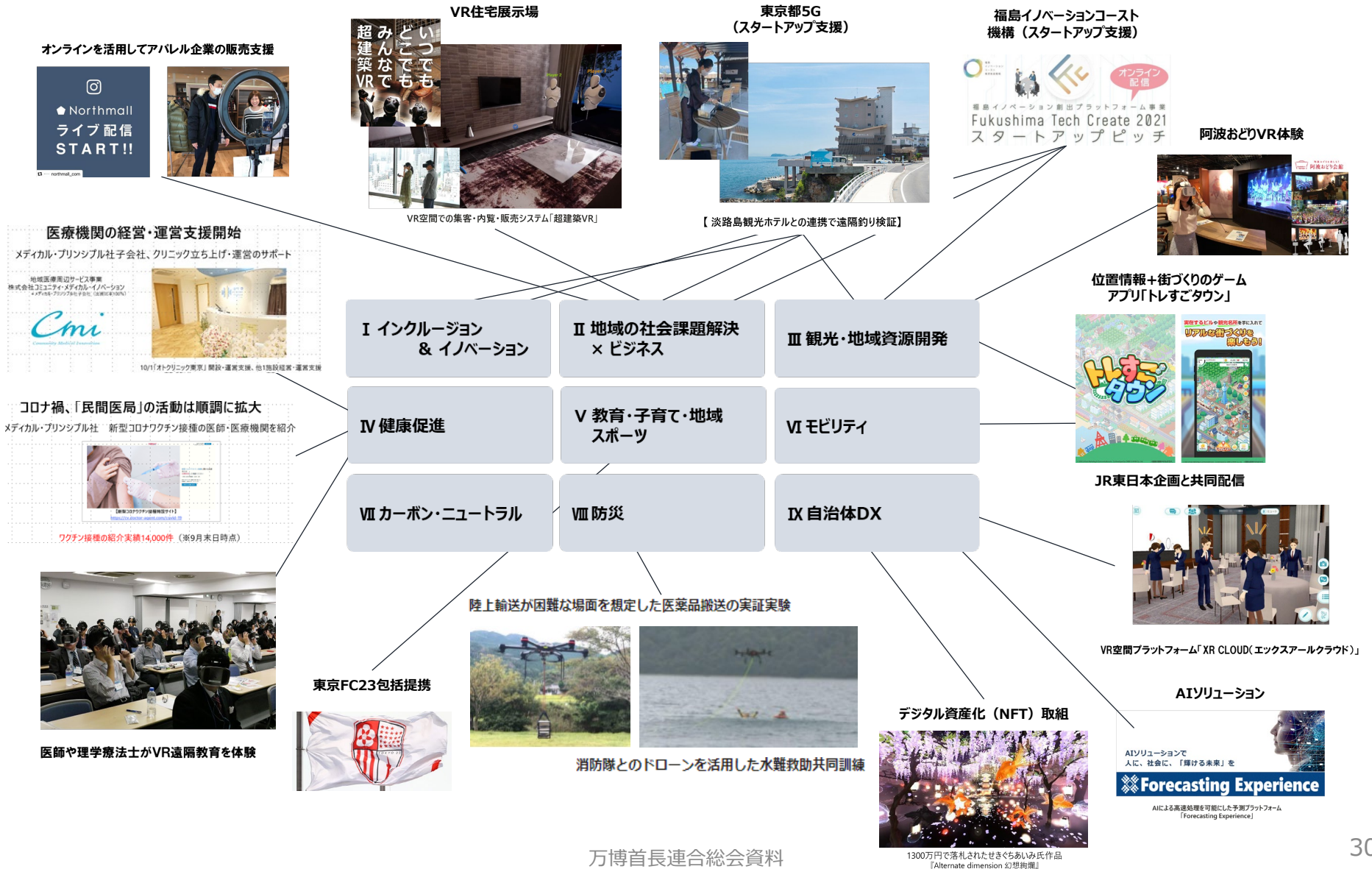
プロフェッショナル・ネットワーク 345,000名

- クリエイティブ（映像/ゲーム/WEB等） : 89,650名
- メディカル・ヘルスケア（医療） : 143,000名
- 経営支援（会計/法曹/CXO） : 82,740名
- コンストラクション（建築） : 5,260名
- クオリティ・オブ・ライフ（ファッション/食/アスリート） : 11,550名
- コンピューターサイエンス（大学研究者/AI/IT） : 11,100名
- ライフサイエンス（バイオ研究者/農業） : 1,700名

クライアント

45,000社

参考：「事業」の切り口から首長連合のテーマと関連するC&R社の取組事例



(株)クリーク・アンド・リバー社の取組について（実績紹介）

地方自治体との取組事例

■ 2018年～2021年／福島県庁商工労働部産業振興課 デザイン思考のモノづくり企業支援事業（ふくしまデザインプロジェクト）

県内企業を提案型・開発型の企業へと転換していくにあたり、デザイン思考による製品開発を浸透させるための各施策を実施。県内の各都市において、デザイン思考を活用した新製品開発および新規事業創出を目的としたワークショップ・セミナーを開催し、製品開発に進む企業に対し各種のハンズオン支援を実施。

■ 2018年～2021年／福島県庁商工労働部産業振興課 地域活性化知的財産マッチング支援事業

県内企業を提案型・開発型の企業へと転換していくにあたり、大企業の開放特許を活用した新製品開発をはじめとする知財活用のサポートを、県内6都市の産業支援機関と連携して実施。自治体が継続的に活動できるスキームを構築しながら、ビジネスマッチング、開放特許のマッチングサポート等、県内企業へのハンズオン支援を実施。

■ 2020年～現在／公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 Fukushima Tech Create～ビジネスアイデア事業化プログラム～

■ 知財を活用した新商品の開発（青森県）

本事業は、全国各地で実績を挙げている「川崎モデル」を県内に導入し、知的財産を活用して商品開発や販路開拓に取り組む県内企業を支援。令和2年度は、株式会社たなか銘産（弘前市）と株式会社柳沢ファニチャー（五戸町）の2社を対象に、約4か月間に渡って商品開発を支援。

具体的には、川崎市及び株式会社クリーク・アンド・リバー社が持つネットワークを活用して結成した専門家チーム（クリエイターや知的財産コーディネータ等）が両社をそれぞれ訪問し、事業の可能性や課題を明確化するとともに、商品開発や販路開拓を支援。

(株)クリーク・アンド・リバー社の取組について（実績紹介）

■ 2020年～現在／東京都産業労働局商工部創業支援課

Tokyo 5G Boosters Project 5G技術活用型開発等促進事業

東京都と協働して支援を行う事業者を開発プロモーターとして募集・選定し、スタートアップ企業に対し多角的な支援を行う。開発プロモーターとして、東京都、通信事業者等と連携・協働を図り、3ヶ年度にわたりスタートアップ企業等の開発・事業化、資金的、技術的な側面からのサポート、マッチング支援等ネットワーク面の支援を実施。

■ 2021年～現在／文化庁 文化観光拠点施設を中核とした地域における計画推進支援事業委託業務

文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に基づき認定した拠点計画及び地域計画(以下「認定計画」という。)が円滑かつ確実に実施されるよう、効果的・効率的な事業の実施に資するコーチング支援や、認定計画の進捗状況等のフォローアップ調査を実施するとともに、計画の策定に向けた支援を行う。また、上記のコーチング支援やフォローアップ調査で把握した好事例等について、認定を受けた施設・地域間における情報共有を促進するとともに、その他文化観光に取り組む者に対して広く共有することにより、全国各地における文化観光の効果的な推進を支援。

主要メンバーとして全国15認定計画におけるコーチングの企画・コーチングの実施、全認定計画の分析及び基本計画の見直し案の策定、情報発信・シンポジウムの企画・note記事の寄稿計画等認定委員会での報告を実施。

■ 2021年／墨田区産業観光部 SDGs推進事業に係る調査・分析業務委託

墨田区の「自治体SDGsモデル事業」の中核的取組である「ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業」を効果的に推進し、産業振興を通じた持続可能なまちづくりを実現するため、拠点となる「八広・東墨田エリア」及び「錦糸町エリア」の現状や地域特性について調査及び分析、課題整理を行い、各エリアにおいて今後求められる都市機能等などの提案や取組の進捗を測るKPI取りまとめた報告書を作成。

問い合わせ先：万博首長連合事務局 mayoral.alliance@gmail.com
担当 中島